

— Rotary Opens Opportunities —



OSAKA ROTARY CLUB

Weekly Bulletin

創立 大正11年(1922)11月17日 ◆復刊週報第1号発行 昭和24年(1949)4月
 事務所 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 リーガロイヤルホテル内 Phone 06-6448-1121
 URL <http://www.osaka-rc.org/> E-mail secretariat@osaka-rc.org

例会 毎週金曜日 12時15分 リーガロイヤルホテル
 会長 堀 正二 幹事 江藤 克二 クラブ会報委員長 藤井 達郎

2020~21年度

国際ロータリー会長
Holger Knaack国際ロータリー 第2660地区
ガバナー 簡 仁一

2020年9月11日(金)(第4,763回)例会

香港の民主化と中国の一国二制度の行方

大阪大学 言語文化研究科
教授

深尾 葉子氏

香港の「国家安全維持法」、そして一国二制度はどういう状況にあるのか。本日の話はそれらを交えて、大阪や関西経済が今後、どんなふうに関わっていくのかを一緒に考えるきっかけとなれどと思っています。

◇「50年不変」の約束は反故に◇

香港は1997年に英国から返還されました。返還交渉で、鄧小平は「一国両制」と「港人治港」(香港人による自治)を打ち出し、50年変わらずに運営されるとサッチャーに約束しました。中国国内の舵を開放経済に切りながら交渉した鄧小平の戦略勝ちだと思っておりますが、それで返還が決まりました。

返還後23年たちましたが、その間に直接選挙による立法会議員に北京政府の許可がな



いと立候補できないといった様々な制約が顕在化してきました。特別行政区の長官も香港市民によって選ばれない状況がずっと進行していました。香港人の自治が少なくとも50年間あるのかと思いきや、そうではない。いろんな軋みが起きていたということです。

特に2020年7月の国家安全維持法。北京政府が6月に開いた全人代で施行が決定されました。その条文は何と6月30日の夜中の11時30分頃に初めて明らかになり、7月1日に施行されました。「雨傘運動」や'19年の逃亡犯条例に対する運動など、香港の人たちが今まで抵抗していた事柄がほぼ全て灰燼に帰したと言ってもいいぐらいに、強力な法案が通ってしまった。「50年不変」という約束は、もはや終わりを告げたのだと思います。

これからどうなるかですけれど、まず学校

10月2日(金)(第4,766回例会)の卓話

米山月間記念例会

2020 学年度米山奨学生

シュウ ビンケツ
周 續 潔 さん

『『成都』のこと』

(プログラム担当 米山奨学会委員会)

次回10月9日(金)の卓話

西日本旅客鉄道(株)

総合企画本部 MaaS 推進部

MaaS 企画室長 神田 隆氏

「MaaS (Mobility as a Service)

の取り組み」

四つのテスト I 真実かどうか? II みんなに公正か? III 好意と友情を深めるか? IV みんなのためになるかどうか?

で「普通話」(北京語)の教育を徹底する。かつて広東語と英語がメインだった香港の人たちは今、一応、北京語ができるようになっていますが、中国はモンゴル語やウイグル文化と同様に香港の人々の言語を圧縮しています。デモ隊にしても広東語でのコミュニケーションが非常に重要だったので、北京語に取って代わられるということは様々なコミュニケーション、そして人々の考え方を根こそぎ変えていくことがあり得るということです。

さらに、大湾区というグレーター香港のようなエリアに中国政府が大規模に投資することで、香港を一つの大きな南中国経済圏の中に埋め込んでしまおうという動きが活発化します。橋や高速鉄道といったインフラ整備がますます進行するだろうと言われています。

◇ 国境越えるスーパー法規 ◇

香港では行政長官らが「香港には三権分立はありません」と既に明言していて、言論の自由も徹底封殺する。例えば香港の人たちが携帯電話の裏に「幸福香港」という去年からのスローガンのシールを張っていたら、国家安全維持法違反だと逮捕することもできる。日本で有名な周庭(アグネス・チョウ)さんも、外国勢力と結託して政府を転覆させようとしたという同法違反の罪状で逮捕された。

これは国家の領域を超えたスーパー法規です。海外にいても海外の国籍を持っていても、中国の国家安全維持法に触れる行為を行えば、例えば私がもし反中国的なことを言ったとして、逮捕容疑を向こうが決めることができる。世界に対する一つの宣言ともいえるような法規が香港に出されている状況です。

間もなく開かれる予定だった立法会選挙も最低1年延期する。もしかしたら民主派議員が一定の議席をとることを懸念して、ずっとやらないかもしれない。そういったことも含めて香港の人たちが恐れていた事態がすべて早回しになりました。

きょうはその話だけで終わると暗澹たる気持ちになりますので、香港の人が日本に向けている眼差しをご紹介します。

香港の人口は750万人ですが、その中で年間229万人('19年)が日本を訪問している。

10回以上来ている人が全体の29.7%。つまり毎月のように日本に遊びに来ている香港人がたくさんいる。彼らは日本を、アジアにおける貴重な民主と自由のある国であると認識していて、食べ物がおいしくて物価が安くて、自然も美しい。さらに芸能、アニメ、音楽、ゲームなどソフト産業が非常に活発であると。

◇ 大阪に大きなチャンス ◇

日本に来る香港人は圧倒的に大阪が好きです。東京よりも大阪のほうが気が楽だと言っていて、都道府県別訪問率の1位は32%の大阪です。東京は2位で、ディズニーランドのある千葉、京都、福岡と続きます。

若者へのインタビューでは、日本にもし来るとしたら懸念は、仕事があるかどうか、給料が香港より下がるんじゃないか、家族が行けるのかどうか、あるいは日本のやり方に適応できるかどうか。でも、欧米よりも行きやすく、家賃も安いし行ってみたいなという、そういう思いを持っています。

日本では、香港の金融都市の移管に関して手を挙げるべきだという動きが盛んになっています。私は例えば神戸にリトル香港をつくってはどうかとか、あるいは大阪も含めて香港の人材を活かせる場をどんどんつくるべきじゃないかと提案しようと思っています。

香港の人材はマルチリンガルで、ITや貿易業務に強くて、非常に即戦力があって作業が速い。高収入の人も多くて、自分で投資しようという意欲も持って、今の資産を移したいという意欲を持つ人もたくさんいる。大阪にとっては、アジアの金融の新たな一つの中心地づくりに向けて非常に重要なチャンスが来ているのかなと思います。

(スライドとともに)

卓話者紹介：中国の研究者の父親の影響で、東洋史学、人類学を経て『黄砂の越境マネジメント－黄土・植林・援助を問いなおす』の著書では、環境問題と援助のあり方を問い直すことを提起。近年は「タガメ女」「カエル男」などのキーワードで、日本社会のアメリカ的価値観を批判している。著書『香港バリエード－若者はなぜ立ち上がったのか』では香港の民主化にも注目している。

◇ 例 会 記 録 ◇

国内ゲスト 2名
深尾 葉子氏 クラブゲスト:本日のスピーカー
Mr. Andrew Wylegala 紹介者:辰野 勇会員
出席会員 183名※(内8名免除会員)
※特別出席規定免除申し出会員含む
欠席会員 56名
出席規定免除会員 28名
会員総数 259名 出席率 76.57%
前々例会(8月28日)の補正出席率 82.01%
本日のプログラム司会:道上 洋三君



Niko-Niko Box

塩野 秀作君(香料製造)
9/10(木),大阪国際大和田高校に講師9名で
出前授業に行きまして。感染予防対策
は万全で安心して行えました。奥田吾会員,
授業の場を提供頂きありがとうございます;

奥田 吾朗君(教育研究機関管理)
塩野職業奉仕委員長そして堀会長はじめ出前
授業の講師の皆様,生徒達に素晴らしい機会
を頂き感謝申し上げます;

高月 清君(内科医)
7月末に卒寿の記念を頂きました;
近藤 隆士君(不動産経営)
新居会員にお世話になりました;
小西 哲夫君(化学工業)
S.A.A.の方と目が合い,まだ不足と…;

松田 憲二君(電池製造)
ちょっと良い事がありました;
新倉 雄二君(広告)
最近ニコニコする機会がないので;



【みおつくし奨学金】

(宮古との奨学金制度にのみ使います)

Mテーブルミーティング参加者一同(9/9(水))
初のオンラインテーブルミーティング無事終
了しました。思っていたよりずいぶん楽しい
時間を過ごしました;

大町 慶華君(宗 教)
本堂の耐震工事が決定したことにより;
上田 孝君(造船・航海用具製造)
色々嬉しい事が重なりましたので;

◇ Club News ◇

委員会等

ロータリー財団委員会 9月11日
地区ロータリー財団セミナー 9月12日

◇ Members News ◇

今週の Happy Birthday !

柴田 弘文君 (教育研究機関管理)	9月27日
黒田 章裕君 (事務用品製造)	9月28日
David Lawson君 (外交官)	9月30日
平澤 範雄君 (宗 教)	10月1日
立松 博君 (保 険 業)	10月1日
松田 憲二君 (電 池 製 造)	10月2日
森本靖一郎君 (教育研究機関管理)	10月2日
諏訪 正弘君 (航空運輸業)	10月2日

Mテーブルミーティング(オンライン)

(2020.9.9(水)19:00~20:00)

新型コロナウイルス禍で、テーブルミー
ティングが延期されて久しい中、「Withコロナ」
下での新しいスタイルのテーブルミー
ティングとして、「Zoom」を使ったオンラインミー
ティングを実施しました。

堀会長の乾杯の挨拶とギャラリービュー
(各自の顔写真)で始まった新しいスタイルの
会は、自宅や事務所からの参加となり、それ
ぞれの背景を見るのも楽しみでした。冒頭、
堀会長からアストラゼネカ社製ワクチンの深
刻な副作用のお話や、BCGはコロナ免疫とし
て効果があるのか?血液型や性別は重症化に
影響するのか?など、感染症についての知的
で興味深いお話が続きました。

その後は、薩摩会員のリードで参加者全員
が新型コロナウイルス禍中の「マイブーム」に
ついての話をすることとなりました。佐川副
会長は韓流映画、嘉納治会員は7歳の愛娘と
の川遊び、新居会員流・手作りスウィートポ
テト、藤木会員・首振り野球人形、上田会員・
数独&ウォーキング、薩摩会員・国際ソムリエ、
江藤会員・幹事道、堀会長・25年続くウォー
キングなど、興味が尽きない話題で、あっとい
う間の1時間でした。

(記録作成 藤木 一郎)

今後は、Withコロナの時代に合わせた新し
いテーブルミーティングとして、このオンライ
ン(Zoom)ミーティングを各テーブルでも、
趣向を凝らして実施して下さるようお願いし
ます。(テーブルマスター 薩摩 和男)

〈出席〉堀正, 佐川, 江藤, 嘉納治, 上田, 新居,
藤木, 薩摩, 事務局3名 計11名

※開催のためのお願いを次ページに掲載

オンラインによる「テーブルミーティング」

開催のためのお願い事項

開催ルールにつき、堀会長、佐川副会長と協議の結果、下記の要件を実行いただいた場合にメイクアップと認める事となりました。

- ◆参加者の顔が一覧表示されるギャラリービュー写真を撮影して、事務局まで送るか、当クラブHPのブログ欄にUPしてください。
- ◆写真に添えて当日の議事録もお願いします。出席者名など確認の上、HP活動ブログ欄にUPし、会報にも掲載いたします。
- ◆ミーティングは少なくとも40分程度の時間をかけて開いてください。
- ◆当日のニコニコ箱への協力として「みおつくし奨学金」へ、従来通りの一人当たり3,000円の寄付をお願いします。テーブルマスターが全員分を立て替えて例会時にニコニコへ。後日メンバーから徴収してください。
- ◆Zoomの無料アカウントの場合、40分という制限時間がありますが、大阪RCとして、有料アカウントを取りましたので、それを使えば制限時間なしに利用が可能です。詳細は、事務局までお問い合わせ下さい。

(友好委員長 薩摩 和男)

◇ 10月度卓話予定 ◇

- 2日(金) 米山月間記念例会
2020学年度米山奨学生
周 續潔さん
「『成都』のこと」
- 9日(金) 西日本旅客鉄道(株)
総合企画本部MaaS推進部
MaaS企画室長 神田 隆氏
「MaaS (Mobility as a Service)
の取り組み」
- 16日(金) 気象予報士 南 利幸氏
「目からうろこの天気予報」
- 23日(金) (一社)日本食品添加物協会
常務理事・広報委員長
清水 亮輔氏
「食品添加物の役割とその安全性」

※10/30(金)はクラブ定款による休会

100周年

創立100周年記念式典・祝賀会
2022年11月18日(金)夕刻
於：リーガロイヤルホテル

米山奨学生便り

(ロータリー米山記念奨学会へのレポートを

ご本人の了承を得て掲載します)

2020学年度受入れ奨学生 周 續潔さん

「学生生活で感じたこと」

日本に来た目的は、話し言葉を上手に学ぶだけでなく、国際的な視野を広げ、新しいことを学ぶことである。

私の中国の大学とは異なり、日本の大学での勉強の仕方はずっと面白いと思う。興味深い点は、日本の教師は常に生徒が教室の主人になることを望んでいるということだ。

たとえば、「教育方法論」というコースがある。このクラスは基本的に教師が主宰し、生徒はチームに分かれて討論する。生徒によって意見が異なるが、私は彼らの議論から非常に恩恵を受けていると感じている。

最も印象があるのは、基本的にすべてのクラスが学生に自分の考えを書かせたことである。中国の大学にはそのようなものはない。

相愛大学には非常に面白くて、みんなで冗談を言ったり、面白いことを一緒に共有したりする先生がいる。留学生と一緒に言語を学ぶ先生もいて、とても親切だ。より厳格で教室での現場を真剣に扱う教師もいる。

過去2年間に日本で多くの地元の知識を学び、各地を旅したが、それでも十分ではないと感じている。だからこそ、私はロータリー米山記念奨学会に参加して、より多くの学習機会を得ることができてとても光栄だ。

私は、コロナの期間中にもっと自己規律を身につけ、日本で勉強しながら自分自身をさらに向上させる機会を大切にしたいと思っている。言葉を上手に学ぶだけでなく、国際的な視野を広げ、新しいことを学びたいです。

カウンセラー所見：

周さんは、礼儀正しく明朗で、出会う人に爽やかな印象を与えてくれる21歳の奨学生です。相愛大学人文学部では国際コミュニケーションを専攻し、今は卒業論文の準備と大学院進学のための勉強に、精一杯取り組んでいます。将来の夢は、大学院に進学して博士号を取得し、国連に勤めて国際社会のために働くこと。インドネシアのバリ島でボランティア活動にも参加。彼女は、中国語、日本語、英語が分かる国際人を目指して、挑戦と努力を惜しみません。(米山奨学委員長 芝井 敬司)